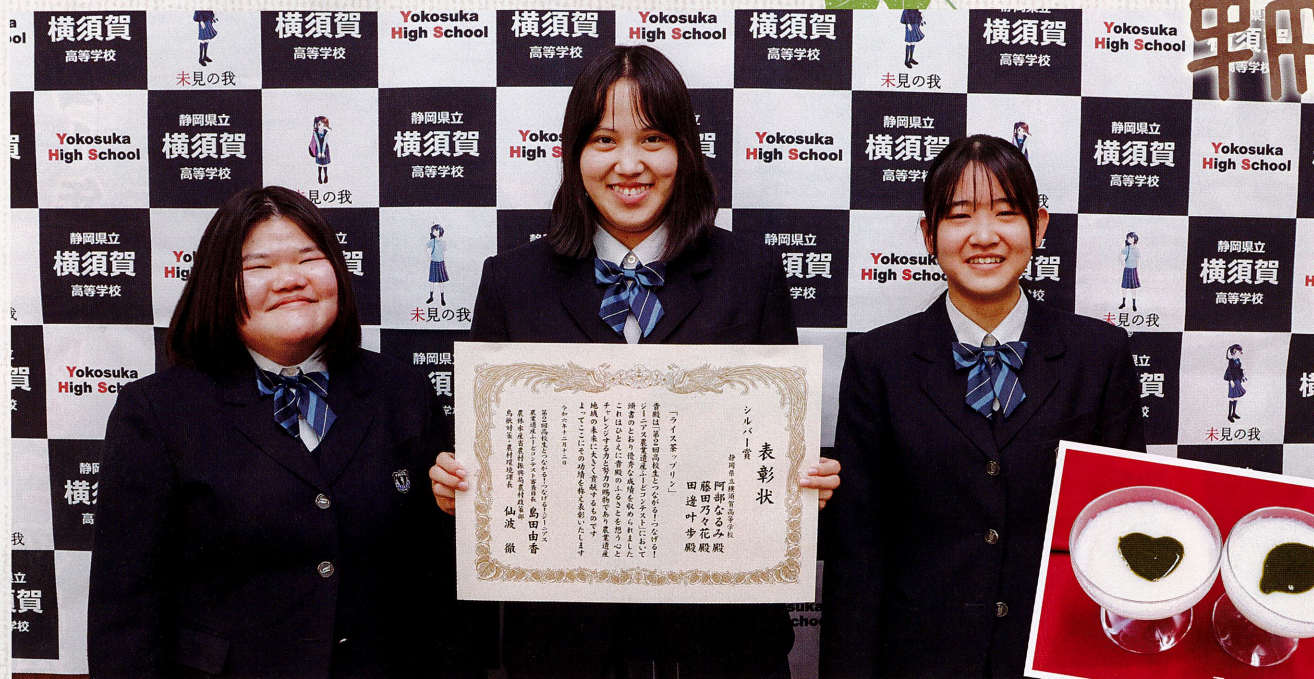


藤田 乃々花(左) 阿部 なるみ(中) 田邊 叶歩(右)



Vol.162



掛川市の自然や歴史、文化を知るきっかけとなり 多くの方に愛着を持ってもらえるスイーツに

農林水産省が主催する『第2回高校生とつながる！つなげるージニアス農業遺産ふーどコンテスト※』で、私たちの考えた「ライス茶アップリン」がシルバー賞を受賞しました。参加のきっかけは、課題研究の授業で地元の食材を用いたレシピ開発に取り組んでいたことです。その際にコンテストの開催を知り、挑戦を決意しました。

コンテストは「2地域以上の農業遺産地域の産品を組み合わせること」が条件でした。私たちが過ごす掛川周辺地域は「静岡の茶草場農法で生産された深蒸し煎茶」が産品の1つです。これをソースにして、課題研究で考案していた「ライスアップリン」に合わせることにしました。もう一つの地域には、2年生の時に修学旅行で訪れた兵庫県の淡路地方を選びました。南あわじ地域では、ライスアップリンの材料である「淡路島牛乳」と「米粉」が登録されています。親しみのある淡路地方と地元掛川のコンビネーションで「ライス茶アップリン」が完成しました。

作成の過程では、NPO法人とうもろの会に話を聞いたり、市のお茶振興課から深蒸し煎茶の粉末を提供してもらったりと、地域

の方にたくさん助けけていただきました。試作は2回ほど行ない、一番こだわったのはソースです。深蒸し煎茶のおいしさが伝わるよう、濃さや粘度を追求しました。それに合わせてプリンはなめらかで優しい甘さに仕上げ、一緒に味わうことで互いの良さが引き立つように調整しました。

始めのうちはアイデアが思い浮かばず苦労しました。しかし周囲の皆さんの協力のおかげで自慢の逸品を考えることができました。高校生活の集大成として、皆の想いが込められたレシピで賞を取れたことをうれしく思います。

今後は、掛川市で商品開発を目指したいです。「ライス茶アップリン」が掛川市の自然や歴史、文化などを知るきっかけとなり、多くの方に愛着を持ってもらえるスイーツになればと思います。

※農林水産省が、農業遺産地域の魅力を広く発信し、地域活性化を図る取り組みの一環として、農業遺産地域の高校生を対象に、当該地域の産品を使った食品または料理のアイデアを募集したもの。第2回は69件の応募があり、横須賀高校はシルバー賞を2年連続で受賞した。